

令和4年度大阪医科大学医師会総会議事録

大阪医科薬科大学 内科学Ⅳ 講師／書記 石田志門

日 時： 令和4年6月28日（火） 18:00～18:45
場 所： 大阪医科薬科大学 学Ⅰ講堂（講義実習棟棟2階）
出 席： 佐野顧問、森脇会長、 中野副会長、萩森副会長、梶本副会長、
浮村理事、平松評議員、金沢評議員、新田評議員、根尾評議員、
奥評議員、瀧谷会計、 石田書記、 鰐淵会員、 大須賀会員（敬称略）

議長に中野副会長が選出され、議事が進められた。

議長が、出席15名、委任状257、計272、総会の定足数である会員数491の過半数246を超えているので、総会が成立することを宣言し、開会した。

<会長からの挨拶>

お忙しいところご参集いただきありがとうございます。平素は医師会活動にご協力を賜りありがとうございます。6月25日に行われた日本医師会代議員会で会長選挙が行われ、現職の中川会長の後任に、松本吉郎常任理事が選出されました。浜松医科大学のご出身で、皮膚科の先輩ですので、個人的にも応援しています。副会長には、大阪府医師会長の茂松茂人先生がトップ当選されました。8月には大阪府医師会長の後任が決まる予定です。

本日は1時間くらいで終了する予定です、どうぞよろしく願いいたします。

1. 令和3年度事業報告ならびに令和4年度事業計画（森脇会長）

進行表では「1. 事業報告」「2. 事業計画」となっていますが、資料の通り同時に進めます。

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数は512名（令和3年6月16日現在）から489名（令和4年6月16日現在）と23名減少しました。臨床研修医終了後に退会する会員が増えていることから、松本新日本医師会長は、医学部卒業後5年間の会費無料化に取り組み、この間に医師会活動を理解してもらい若手医師の組織力を強化する必要性を、所信表明の中で述べられました。

研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、昨年は4月6日に、今年は4月4日に、医師会活動の宣伝を行いました。大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーは、昨年も今年も開催中止になりました。2年目の研修医を対象とした大阪府医師会勤務医部会主催のウェルカムパーティーは、昨年は開催中止になりましたが、今年は11月6日予定されています。パーティーがあると入会者が増えるのではないかと思います。

大阪府医師会会長の茂松先生の特別講義が、第3学年生を対象に、昨年は5月21日に、今年は5月25日に行われました。

当医師会の役員は、資料の通りです。茶色の字が新任者です。理事を瀧谷先生に、評議員を李先生と瀧谷先生と辰巳先生に、編集委員を平松先生にお願いします。内科学2の評議員は、教授が決まったのちに依頼します。

医師資格証は、日本医師会が発行する医師資格を証明するための電子証明です。採用時や災害時の身分証明ができ、地域医療連携システムや講習会受付の出欠管理等 IT でも利用できます。現

在の取得率は、日本医師会会員で11.5%、医師全体で6.8%となっています。取得を促進するために、掲示板(総合研究棟1階)に案内ポスターを掲示し、医師会入会申込書に申請書を同封しています。マイナンバーカードに国家資格を結びつける件は、医師会としては確認していません。

日本医師会生涯研修制度は、引き続き単位取得をお願いします。3年間で60単位取得すると認定証が発行されます。日本医師会が主体となり、大阪府医師会も協力しています。

当医師会のホームページの更新も定期的に行っています。当医師会についての情報や、会報第56号と第57号を掲載しました。今年度は、第58号と第59号を掲載します。

当医師会における大阪府医師会の会員区分を正しく運営するために、C区分は研修医とレジデント及び臨床していない医師と定義し、B区分はC区分以外の会員としました。基礎系の会員並びに65歳以上の定年退職した会員に、臨床しているかどうかの調査を行いました。臨床していない会員8名には、B区分からC区分への変更を依頼しました。またC区分で登録しているB区分に該当する会員294名には、C区分からB区分への変更を依頼し、うち114名に異動報告書を提出いただきました。会費がアップされるので心苦しいですが、ご了承いただきありがとうございます。おかげで少し増収になります。今年度も引き続き、レジデントを終了した会員にはC区分からB区分へ、大学院生からレジデントになった会員にはB区分からC区分へ、昨年度変更されなかった会員にも変更依頼をしていきます。

減免会員の当医師会運営維持費について、満年齢83歳に達し高齢減免されている日本医師会B会員からは、日本医師会費と大阪医師会費同様、当医師会運営維持費も徴収しないこととしました。

昨年の総会で、医師会名称を大阪医科大学医師会から大阪医科薬科大学医師会に変更しました。それに伴い、メールアドレス、ホームページアドレスも変更になっています。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

毎年、会報を2号発行しています。昨年9月15日に発行した第56号では座談会「関西BNCT共同医療センター」について、3月15日に発行した第57号では座談会「いま、かかせない治療オラルケア(口腔ケア)を語る」について特集し、9月15日に発行予定の第58号では座談会「アレルギーセンター」(仮題)を特集する予定で、座談会を7月14日に開催します。

学会等助成は、規程で5件まで各10万円助成するとなっています。令和3年度は、令和2年度に選考した令和3年度分、整形外科根尾教授、形成外科学上田教授、泌尿器科学東教授、皮膚科学森脇教授、産婦人科学大道教授の5学会に計50万円を助成しました。贈呈式はコロナ禍で総会時間短縮のため行いませんでした。令和4年度分は、2件の応募があり、形成外科学上田教授と整形外科根尾教授の2学会に計20万円を助成することを、11月9日に決定しました。今年度も贈呈式は、コロナ禍で総会時間短縮のため行いません。10月には来年度の公募を開始します。

北摂四医師会医学会総会は、昨年度は摂津市医師会の当番で、6月12日から6月20日までオンデマンドWEB開催し、閲覧は北摂四医師会医学会会員限定としました。特別講演は小児科学教室の芦田教授の動画配信し、一般演題は10題のスライドPDFを配信しました。「優秀演題賞」はプレゼンがなく審査できないので、「コロナ禍奨励金」として、発表いただいた一般演題にそれぞれ1万円(税引後)を贈呈しました。今年度は茨木市医師会の当番で、6月11日から6月19日まで昨年同様オンラインWEB開催しました。特別講演は精神神経医学教室の金沢教授の動画配信し、一般演題は12題のスライドPDFを配信しました。昨年度は初めてのオンデマンドWEB開催ということもあり、視聴数が少なかったのですが、今年度は広報の甲斐もあり増えました。今年度も発表いただいた

一般演題に「コロナ禍奨励金」1万円(税引き後)を贈呈しました。

北摂四医師会医学会の分科会は、以前は多くの分科会が活動していましたが、このところ休止の分科会が増え、活動を継続している分科会は5つになりました。今年度は、この活動中の分科会が、北摂四医師会医学会の4つの要件を満たしているかの調査を行います。要件は、幹事が4つの医師会から選出されていること、規程があること、年1回研究会等を開催していること、参加費を徴収して運営していること、の4つです。北摂四医師会医学会のホームページに分科会のページを作成し、活動内容を掲載していく予定です。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックは、昨年度はブロック委員会ならびに第2ブロック研修会も開催されませんでした。今年度は、例年通り開催を予定しており、第1回委員会が7月7日に開催されます。

大阪府医師会勤務医部会常任委員会は、原則第2及び第4火曜日の17:00～、年間21回 Web開催され、毎回星賀府医理事が司会をされました。Web開催になって参加しやすくなり、森脇会長が月1回程度、本日も参加しました。星賀府医理事が退任されたので、司会は今回から杉本府医理事(近畿大学)がされています。

大阪府医師会役員と勤務医部会役員の懇談会が、昨年9月2日に「COVID-19への対応を振り返る」をテーマに開催されました。今年度は9月1日に予定されていますが、テーマは未定です。

在阪5大学医師会役員ならびに2行政医師会役員との懇談会は、昨年11月25日に、星賀府医理事司会のもと、「with コロナ時代の医師の働き方改革への取り組み——有事と平時の働き方を考える」をテーマに開催され、浮村理事が発表し、森脇会長、中野副会長、梶本副会長、寺崎理事が参加しました。今年度は11月24日に開催される予定です。

在阪5大学医学生と語る会が、1月21日に開催され、星賀府医理事、小野教授、4年生学生5名が参加しました。今年度の開催は、未定です。

勤務医部会研修会が、2月8日に「AI が医療に与える影響」をテーマに日本医師会の羽鳥常任理事が講演されました。例年2月に開催されていますが、今年度は1月24日の予定です。

第1～4ブロック合同懇談会が、2月24日に「新型コロナウイルス感染症 最新の話」をテーマに開催されました。今年度の開催日時は未定です。

第1～2ブロック女性医師支援WGが、2月26日に「タスクシフトで実現する働き方改革」をテーマに開催されました。今年度の開催日時は未定です。

3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

森脇会長が引き続き、日本医師会代議員に就任しました。

日本医師会代議員会は、昨年6月27日に第149回、3月27日に第150回が開催されました。日本医師会と都道府県医師会を中継して開催され、森脇会長が参加しました。今年度は、6月25日に第151回が開催され、新会長に松本先生が、副会長に茂松府医会長が選出されました。その翌日の6月26日には、新体制のもと第152回代議員会が行われました。

星賀府医理事は、今年6月25日に府医理事を退任されました。

大阪府医師会代議員には、寺崎理事の後任に瀧谷理事が、予備代議員には金沢評議員が就任します。

大阪府代議員会は、昨年6月24日に第319回、3月24日に第320回が、府医医師会と郡市区等医師会を中継して開催されました。第319回には森脇会長、中野副会長、萩森副会長、浮村理事、

土手理事が、第320回には森脇会長、中野副会長、萩森副会長、浮村理事が出席しました。今年度は5月26日に第321回が開催され、森脇会長が出席し、大阪府医師会会長に茂松先生が再選されました。茂松府医会長は、6月25日に日本医師会副会長になられたので、近々、府医会長が新しく決まります。今年度は、6月23日に第322回が開催され、森脇会長と萩森副会長が出席しました。3月23日に第323回が開催されます。

大阪府医師会各種部会や委員会のメンバーは資料の通りです。多くの先生にご尽力いただいています。この場を借りてお礼申し上げます。今年度も引き続き、よろしく願いいたします。

大阪府医師会都市区等医師会長協議会が毎月原則第4金曜日14時から開催されていますが、森脇会長は診療があつてなかなか出席できません。当日配布資料と議事録を後日確認しています。

都市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会が、昨年7月26日に、今年度は7月25日に開催され、ともに新田評議員が出席します。

大阪府医師会学術講演会は当医師会員が座長や講師を務めたもののみ紹介します。2月24日に開催された感染症シリーズでは、中野府医医学会運営委員が司会を務め小川会員が講師を務めました。今年度は、4月21日に開催された循環器シリーズで星賀府医理事が司会を務め、5月19日に開催された消化器シリーズで福西会員が「高齢者の非アルコール性脂肪肝疾患診療を考える」を講演しました。

大阪府医師会医療安全推進指導者講習会が、昨年11月27日に開催され、中野副会長が「院内感染対策」を講演しました。

大阪府医師会会員名簿は隔年で発行され、今年度調査があります。

全国医師会勤務医部会連絡協議会総会が、昨年10月2日に「勤務医とともに歩む医師会の覚悟～医師会が守るべきもの、変えるべきもの～」をテーマに京都で開催されました。今年度は10月15日に名古屋で開催されます。

日本医師会女性医師支援センター事業「医学生、研修生等をサポートするための会」は、1月15日に「女性医師のキャリアを考える」をテーマに、関西医科大学が当番で開催されました。

日本医師会「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」は、一昨年度、昨年度と開催が見送られましたが、今年度は開催される予定です。

日本医師会女性医師支援担当者連絡会は、昨年12月5日にWeb開催され、神崎女性医師・研究者支援センター長が出席しました。今年度も開催される予定です。

大阪医科薬科大学病院連携病院長会総会は、昨年11月18日に大阪新阪急ホテルで開催され、森脇会長が出席しました。今年度は、11月7日に予定されています。

三島医療圏がん診療ネットワーク協議会は、1月27日に開催され、森脇会長が出席しました。

大阪府医師会都市区等医師会職員連合会は、今年度も昨年同様書面審議で行われました。

〔質疑1〕北摂四医師会医学会一般演題のコロナ禍奨励金は、高すぎませんか。(瀧谷会計)

万円を円に修正します。

〔質疑2〕当医師会の医師資格証の普及率はどうですか。他大学医師会と比べてどうですか。

普及率が高いと、医師会の組織力をアピールできると思います。(佐野顧問)

調査します。

〔質疑3〕今年度の大阪府医師会役員が全員昨年に引き続きとなっていますが、

退官された樋口先生も同様ですか。(佐野顧問)

樋口先生は退官後退会され、府内の他の医師会に異動されました。
この欄を訂正します。

〔審議結果〕 全会一致で承認されました。

3. 令和元年度会計報告・会計監査報告（瀧谷会計）

瀧谷会計より、項目ごとの金額が報告されました。概ね予算通りに執行されました。

上杉監事及び麻田監事は、本日不在ですが、会計報告が適正であることを認めています。

〔審議結果〕 全会一致で承認されました。

4. 令和2年度予算案（瀧谷会計）

瀧谷会計より前年度と同じ事業を展開するための予算案の提示がありました。応益負担金の増分は、大阪府医師会会員区分を C 区分から B 区分へ100人近い会員に変更いただいたので、発生しました。徴収額をそのまま、大阪府医師会に納入します。事務消耗品費は、昨年度はパソコン購入により増えましたが、今年度は例年に戻しました。寄付金の増分は、ウクライナ募金と茂松府医会長への寄付金です。

〔審議結果〕 全会一致で承認されました。

5. その他

特にありません。

以上